

予 算 要 求 資 料

令和2年度3月補正 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 **新** 防疫対策強化支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号:058-272-1111(内 2886)

E-mail: c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 17,664千円 (現計予算額:0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	17,664	0	0	0	0	0	0	0	17,664
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・令和2年11月5日に香川県の養鶏農場にて高病原性鳥インフルエンザ(今季1例目)が発生して以降、全国の養鶏農場にて相次いで発生が確認されている。
- ・令和3年1月2日には、美濃加茂市内の養鶏農場において発生し、防疫措置を行ったところであり、いつ岐阜県内にまん延してもおかしくない状況にあることから、予防対策の一層の強化を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・高病原性鳥インフルエンザの予防対策として、次の事業を実施する。

① 飼養衛生管理基準(緊急点検項目)の遵守を再徹底

令和2年12月に農場による自主点検を実施した飼養衛生管理基準の点検項目について、管理獣医師(農場を担当する獣医師)や養鶏専門獣医師による再点検を実施。平素には見逃されがちな事項も詳細に確認し、指摘があった場合には速やかに改善

② 養鶏農場における緊急消毒の実施

県内の養鶏農場に対して消石灰を配付し、農場の緊急消毒を実施

③ 養鶏農場へのウイルスの侵入防止対策の強化

県内5か所の消毒ポイントの増強を図るとともに、農場や鶏舎にウイルスを侵入させないように、立ち入る際の消毒や小動物等の侵入防止対策の徹底を支援（動力噴霧器等の購入・貸与）

④ 初動・防疫体制の確立

県内での発生に備え、必要資機材の確保及び全庁的な職員動員体制や作業手順の確認などの事前準備を実施（防護服・マスクの備蓄、集合場所の新型コロナ対策（消毒薬、体温計購入等））

⑤ ため池等の周辺道路の緊急消毒

死亡野鳥や糞便からウイルスが検出された場合等に、渡り鳥等の飛来が多い、養鶏農場付近のため池等の周辺道路を対象に散水車による消毒を実施

⑥ ため池を介したウイルス拡散の防止

養鶏場付近のため池を対象に、死亡野鳥等の巡回監視のほか、落水やテグス・反射テープ等による渡り鳥の忌避対策を実施

また、ため池を訪れる人がウイルスを拡散しないよう、周辺の遊歩道等に注意喚起看板、消毒帯を設置

（3） 県負担・補助率の考え方 ・ 県負担 10/10

（4） 類似事業の有無 ・ 有（消毒検査薬品費（国の通知に基づく緊急消毒の実施））

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,950	管理獣医師等報償費
旅費	663	管理獣医師等費用弁償、職員業務旅費
需用費	10,751	消石灰・防疫資材等の購入、公用車燃料費
委託料	700	道路消毒作業委託
備品購入費	3,600	動力噴霧器の購入
合計	17,664	

決定額の考え方

4 参考事項

（1） 予算上の措置

・ 緊急的に実施する必要があったことから、予算編成執行規則第12条の規定による予算流用を行い事業に着手。（財政課協議済）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 養鶏農場における緊急消毒やウイルス侵入防止対策等を実施することにより、県内における高病原性鳥インフルエンザの予防対策を強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
飼養衛生管理基準の点検項目の再点検	(H)	(H)	(H)	(H)	130 農場 (R2)	%
消石灰配付による一斉消毒の実施農場数	(H)	(H)	(H)	(H)	130 農場 (R2)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>全国の養鶏場で相次いで高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されており、いつ岐阜県内でまん延してもおかしくない状況にあることから、予防対策の強化を図る必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) —	/
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) —	/

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県が配付する消石灰や防疫資材だけでなく、農場の自主的かつ継続的な取り組みが必要。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各農場において、飼養衛生管理基準の遵守・徹底がされるよう、引き続き指導等を行っていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	